

令和6年7月5日

自主防災ときとう



発行 時任町会自主防災部

防災部長 佐久間英昭

函館市時任町19-13

電話 51-8429

(時任町会館内)

災害時等における要支援者避難行動

に対する支援担当者決まる!!



国の制度で、函館市との協議を受けて時任町内の災害支援担当者の選定を進めていましたが、この度決定しました。この制度は、函館市の依頼を受けて、心身の不自由な方が災害時の避難行動をする際に補助的に助力し、日常的に要支援者の状況を把握して、安心・安全の為に共助することを目的とした制度です。今後、支援担当者が担当する方のお宅を訪問し、話し合いをすることになりますのでご協力をお願いします。尚、その際支援担当者は必ず名札を付けて、訪問いたしますのでよろしくお願いします。

※油が原因の火災の時、
水をかけるのはNG
※加熱した水が沸騰
して火柱が上がり水蒸
気爆発を起こすので、消
火器や砂で消火する。

※たこ足配線で過剰電流
が流れて出火の原因に。
※コンセントを抜いた
り、ブレーカーを落として、電流を止めてからは、
水の消火もOKです。

A 正解



油に水は逆効果!
消火器で対処して



コンセントを抜いて
電流ストップが基本

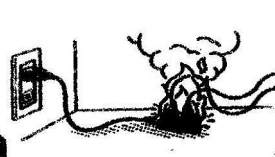
次の3つのうち、
水をかけてはいけないものは
どれでしょう?

3



鍋の油
から出火

2



電気タップ
から出火

1



カーテン
から出火

※ いざという時に慌てないように、自宅周辺にある避難場所や避難経路などをしっかり確認しておくことが大切です。自分だけでなく、家族とも情報を共有しておきましょう。

※ 自分の足や目で体感するのが重要です。

○ ハザードマップを見るだけでなく、年に1回は実際に歩いて、いろいろ発見して危険箇所確認して、避難経路を決めましょう。(2 避難経路用意)

○ まずは休日や時間をつくって自宅周辺から歩いてみるのがおすすめです。

実際に歩いて確認します

